## 地質調査実施要領

#### 1.一般事項

- (1) この要領に記載のない事項は、地質・土質調査業務共通仕様書(案)(令和5年3月31日 国官技第418号)に準ずる。(ただし、「第1章 総則」については適用しない。)
- (2)調査・試験は、JISまたは地盤工学会の定める方法による。
- (3)調査に当たっては、事前に調査計画書を提出し、監督職員の承諾を受けること。

# 2.機械ボーリングエ

(1)調査場所は、小学校運動場内のプレハブ棟整備予定地周辺の1箇所。調査に先立ち 地下埋設物確認を実施すること。

ボーリングの位置及び基準面は監督職員の指示により測量した上で決定する。

- (2) 鉛直下方、ノンコアボーリングとする。また、先行ボーリング調査は実施しない。
- (3) 箇所数・深度・孔径

No. 1 深度: 10m (孔径 $\phi$ 116mm×6m + 孔径 $\phi$ 66mm×4m)

No. 2 深度: 13m (孔径 $\phi$ 66mm×13m)

2 箇所 合計23 m

(4)ボーリング工は原則として監督員立会いで行い、所定深度を完了したときは速やか に監督員の検尺を受けること。

## 3.サンプリング(乱さない試料採取)

(1) デニソンサンプリング 1本

4.標準貫入試験 23回

5. 孔内水平載荷試験 1回

#### 6. 土質試験

(1)物理試験

ア	土粒子の密度試験	2試料
イ	含水比試験	2試料
ウ	粒度試験 (ふるい)	1試料
エ	粒度試験(ふるい+沈降)	1試料
才	液性限界試験	2試料

力塑性限界試験2 試料キ湿潤密度試験1 試料ク細粒分含有率試験1 試料

(2) 力学試験

ア 三軸圧縮試験(UU)1 試料イ 圧密試験1 試料

## 7. 現場調査条件

- (1) 現場調査の詳細な工程は、事前に監督職員と十分調整を行うこと。
- (2) 作業時間は9時から17時30分とし、登下校時間の車両出入りは避けること。

#### 8.提出書類等

- (1) 地盤調査報告書 3部、及び電子データ
  - ア 調査概要
  - イ 調査項目及び調査方法
  - ウ調査結果
  - 工 土質柱状図
  - オ 調査地点位置及び土質推定断面図
  - カ 標準貫入試験結果
  - キ 孔内水平載荷試験結果
  - ク 現場記録写真
  - ケ 室内土質試験結果
  - コ 考察
  - (ア)調査地周辺の地形・地質の検討
  - (イ)調査結果に基づく土質定数の設定
  - (ウ) 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定
  - (エ) 液状化に関する検討
  - (オ)調査結果に基づく基礎形式の検討
  - (カ) 設計・施工上の留意点の検討
  - (2) 土質標本 一式